

RouteMagic

RouteMagic Controller

RMC-TS3200

リリースノート

- Version 1.1.0 -

はじめに

本書の目的

本書は、RouteMagic Controller RMC-TS3200 (以下 RMC と記述)上で稼動する RMC-TS ソフトウェア Version 1.1.0 に関して、以前のバージョンとの機能的な相違点、および RMC 設置・運用上の留意事項などを中心に記述しています。RMC-TS3200 の仕様ならびに操作方法全般に関しては、「RMC-TS3200 取扱説明書」「RMC-TS3200 ユーザーズ・ガイド」および「RMC-TS3200 クイックリファレンス Version 1.1」をご参照ください。

本リリースの動作環境

RMC-TS ソフトウェア Version 1.1 は、RMC-TS3200 ハードウェア上で動作します。RMC-MP200、RMC-MP1200 などその他のハードウェアでは動作しません。

本書の対象読者

本書は、次の方を対象に記述されています。

- RMC のコマンドおよび操作性を理解されている方
- ネットワーク環境の設定に関して基礎的な知識のある方

関連ドキュメント

RMC には、本書の他に、次のドキュメントが用意されています。

■ RMC-TS3200 取扱説明書

RMC の設置とネットワーク機器への接続に必要な情報を記載した、製品添付の説明書です。MP1200 版と MP200 版があります。

■ RMC-TS3200 クイックリファレンス

RMC が提供するコマンドの機能を記述したハンドブックです。

■ RMC-TS3200 ユーザーズ・ガイド

RMC をご利用いただくために必要な作業を中心に、RMC が提供する機能とその利用方法を説明しています。

目次

1.	ソフトウェア Version 1.0 からの変更点	1
	1.1 NFS ポートログ機能の強化	1
	1.2 connect コマンドの強化	1
	1.3 不具合の修正	1
	1.4 Version 1.1 における制限事項	2
2.	Version 1.1 へのアップグレード	3

1. ソフトウェア Version 1.0 からの変更点

RMC-TS ソフトウェア Version 1.1 では、従来の Version 1.0 に対して下記の変更が行われています。現在稼働している RMC のソフトウェアバージョンは、`show version` コマンドにより確認できます。

▶ 「2. Version 1.1 へのアップグレード」参照

1.1 NFS ポートログ機能の強化

NFS ポートログ機能を強化し、詳細なローテーション設定やタイムスタンプ出力等の機能が追加されました。以下のコマンドが新規追加・変更されています。(`set nfs-portlog` コマンドは Version 1.0 から仕様に変更されました。)

```
set [no] nfs-server {ip_address} {export_dir}
set [no] nfs-portlog-prefix {prefix}
set [no] nfs-portlog-rotation {count} {daily|weekly|monthly|size [log_size]}
set [no] nfs-portlog-timestamp
set [no] nfs-portlog
show nfs-status
```

各コマンドについての詳細は、「RMC-TS クイックリファレンス Version 1.1」をご参照ください。

1.2 connect コマンドの強化

`connect` コマンドの引数として、従来のポート名指定に加えて、`set description` コマンドで設定した任意の文字列も指定できるようになりました。

1.3 不具合の修正

- `set stopbit 2` を実行してもストップビットが 2 にならない場合があった不具合を修正
- HTTP によるソフトウェアアップグレード (`upgrade http`) が正しく動作しなかった不具合を修正
(この不具合の影響で、Version 1.0.0 から Version 1.1.0 へのアップグレードは、`tftp` でしか行えません。Version 1.1.0 以降からは HTTP によるアップグレードも可能です。)
- Windows Vista が稼働している PC から RMC-TS3200 に `telnet/SSH` 接続を行うと途中で通信が途切れてしまう不具合を修正

1.4 Version 1.1 における制限事項

RMC-TS ソフトウェア Version 1.1 では、以下のような機能的制限事項がありますのでご注意ください。

- USB-シリアルコンバータを使用して、RMC の COM ポートにログインしている場合、コンソールへの大量のテキストのペースト(貼り付け)が正常に動作しない場合があります。
- RMC の telnet コマンド実行時に、ログイン先で通常のログアウト処理をした場合でも、RMC 側でのコマンド終了ステータスは"error!"扱いになります。
- RADIUS 認証サーバ対応について
 - ・ 認証方法は PAP のみに対応しています。
 - ・ 特権パスワードおよび PPP サーバの認証は、RADIUS 認証に対応していません。
 - ・ RADIUS サーバ上のパスワード変更には対応していません。
 - ・ アカウンティング記録には対応していません。

2. Version 1.1 へのアップグレード

RMC-TS ソフトウェア Version 1.1 は、RMC-TS3200 ハードウェア上で稼働します。

アップグレード作業は tftp 経由で行います。(RMC-TS ソフトウェア Version 1.0.0 の不具合の影響で、Version 1.0.0 からは HTTP でのアップグレードはできません。)

なお、RMC-TS ソフトウェア Version 1.1 アップグレード用ソフトウェアは、RMC-TS3200 に搭載されているソフトウェアが Version 1.0.0 であることを前提としています。

tftp 経由のアップグレード

- ダウンロードしたアップデートファイルを tftp サーバに格納し、RMC 側から upgrade tftp コマンドを実行することにより、アップグレードを実行します。
- RMC から接続可能な tftp サーバを準備する必要があります。Windows の場合でも、フリーソフトの tftp サーバを利用することができます。

バージョンアップに必要なソフトウェアは、ホームページから直接ダウンロードできます。バージョンアップに必要な手順等を記述した「RMC アップグレード手順書」もホームページからダウンロード可能ですので、詳細はこちらをご参照ください。

ホームページ: <http://www.routrek.co.jp/support/>

アップグレード作業におけるご注意

- アップグレード時には以前のバージョンの設定が引き継がれますが、アップグレードの前に copy running-config terminal で表示される設定を別途記録しておくことをお奨めします。

製品に関するサポートのご案内

製品に関するお問い合わせやテクニカルサポートについては、下記の弊社サポートページをご覧ください。

<http://www.routrek.co.jp/support/>

また、製品に関する最新情報やマニュアルも上記ページからダウンロードすることができますのでご参照ください。

Copyright©2007 株式会社 ルートレック・ネットワークス All rights reserved.
このマニュアルの著作権は、株式会社 ルートレック・ネットワークスが所有しています。
このマニュアルの一部または全部を無断で使用、あるいは複製することはできません。
このマニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。

商標について

ルートレック・ネットワークスのロゴおよびRouteMagic は、株式会社 ルートレック・ネットワークスの登録商標です。

本書に記載されている製品名等の固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



株式会社ルートレック・ネットワークス

〒213-0002 神奈川県川崎市高津区二子5 - 1 - 1 高津パークプラザ7F

Tel. 044-829-4361 Fax. 044-829-4362